

福島市農業協同組合（JA福島市）



代表理事組合長 加藤 源 吉
所 在 地 ㊦960
福島市浜田町11-8
☎0245-35-0254
設 立 年 月 日 昭和38年2月1日
役 員 数 25名
理事 20名（うち常勤 1名）
監事 5名
職 員 数 75名（男56名 女19名）
臨時 1名

I 地区の概況

当JAの地区は、福島県中通り地方の北部、旧福島市内の中央地区、渡利地区、立子山地区、岡山地区、向鎌田地区、大波地区の6地区からなっている。

東は保原町、霊山町、南は飯野町、松川町に接しており、国道4号線が南北にはしり、また、国道114号・115号線が東西南北にのびて交通上重要地となっている。

中央地区は、JA地区西部を流れる阿武隈川西側に位置し、近年都市化が急速に進み賃貸住宅経営と露地軟弱野菜栽培がされている。渡利

地区は、組合管内のほぼ中心に位置し、市街地は賃貸住宅経営、山間地は水稻、花木、草花の栽培がされている。立子山地区は、組合管内の南部に位置し、水稻、養蚕、肉用牛、特産物の凍豆腐の生産がされている。岡山地区は、組合管内の東北部に位置し、露地野菜、ハウスきゅうり・トマトの栽培技術も高く集約栽培が普及している。向鎌田地区は、組合管内の北部に位置し、ハウスきゅうり栽培の団地化がされている。大波地区は、組合管内の東部に位置し、水稻、夏秋きゅうりの栽培がされている。

Ⅱ 50年のあゆみ

1 地区農業の変遷

当J A地区の農業の移り変わりは、戦後昭和20年以降は食糧増産が最大の目標であり、管内でも水稻を中心に増産を行ってきた。また、23年に各地区に農業協同組合が発足し、水稻栽培技術指導が急速に行われ、農家の技術向上がなされ増産につながった。

30年代に入り、水稻中心から複合経営が取り入れられ、水稻と果樹、水稻と酪農、水稻と野菜、水稻と花卉、水稻と養蚕・凍豆腐などの専業農家経営が盛んとなってきた。

40年代に入り、農業機械の導入が行われ、労働力の省力化が進む中、米の生産調整である減反政策が始まり、ハウス栽培の施設園芸と花木・草花栽培が導入された。

50年代に入り、冷災害が毎年のようにあり、管内農業にも大きな被害を受けた。その中で、水稻は銘柄米の品種統一を図りつつ品質の高い米の生産が望まれるようになった。また、ハウス栽培は増加の一途をたどりハウス建設が最大のピークとなった。

60年代に入り、農業後継者の不足と兼業農家の増加から果樹、養蚕、肉用牛などの減少

が目立つようになり、市街化区域では賃貸住宅経営による収入増を図るようになった。

平成に入り、農産物の安全性が問われる時代となり、低農薬有機栽培などの技術指導がされている。

現在の地区農業は、兼業農家が9割以上を占めており、農業経営は大変難しくはあるが、専業農家においては、施設園芸、花卉栽培、露地野菜栽培等は安定経営であり、今後も地区農業の中心となると考えらる。

2 農業協同組合の設立と合併の経過

当J Aの前身は、福島市福島、福島市渡利、立子山村、岡山、福島市向鎌田の各農業協同組

図表1 地区農業の変遷（農業センサスより）

年次		25	35	40	50	60	2
項目	総農家戸数 (戸)	3,008	1,983	1,881	1,659	1,401	1,255
	うち 専業 (戸)	1,665	679	362	239	202	192
	I種兼業 (戸)	848	756	820	520	324	184
	II種兼業 (戸)	495	548	699	786	875	879
	経営耕地面積 (ha)	2,514	1,364	1,217	1,013	904	787
	うち 田 (ha)	1,111	434	388	328	293	267
	畑 (ha)	945	687	601	482	421	374
	樹園地 (ha)	458	243	228	203	190	146
	稲 (ha)	1,068	1,065	982	652	506	393
収 穫 面 積	麦 類 (ha)	636	564	248	2	1	1
	野菜 類 (ha)	94	712	636	417	290	212
	果実 類 (ha)	161	395	369	289	255	243
	飼料作物 類 (ha)	19	13	32	76	54	49
	たばこ (ha)	23	22	11	8	16	
飼育頭羽数	乳用牛 (頭)	146	648	968	615	513	410
	肉用牛 (頭)	936	565	395	229	255	263
	豚 (頭)	198	493	892	348	270	421
	にわとり (千羽)	7	26	42	15	22	6
	ブロイラー (千羽)			5	29		

(注) 数値にはJ A北福島地区の一部を含む ブロイラーの50年以降は出荷羽数

合である。昭和23年にそれぞれの農業会の資産を受継いで誕生した。

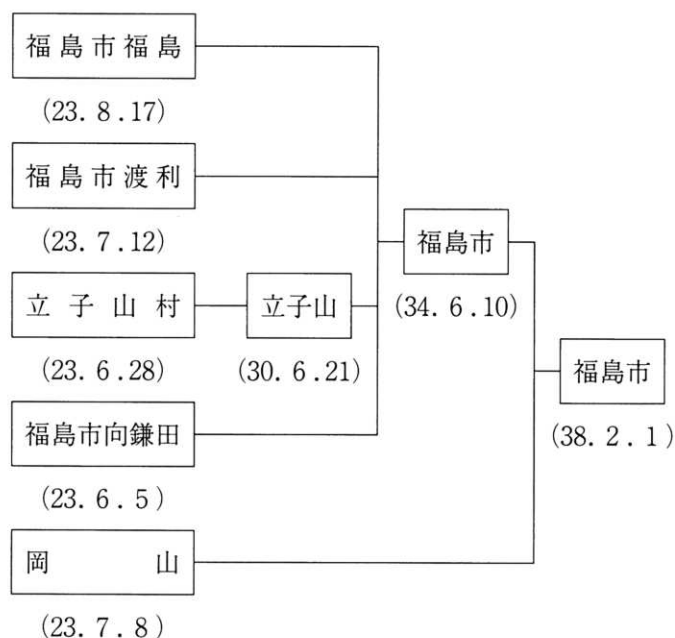
34年に福島市福島、福島市渡利、立子山、福島市向鎌田の各農協が合併し、それに30年に福島市に分村合併していた小国村農協の大波地区が参加して、福島市農業協同組合が発足した。38年に岡山農協が合併して現在のJ Aとなった。

3 経営の推移

(1) 昭和30年代

第一次合併の34年には営農研究会と営農指導部を設置したが、指導経費である賦課金の徴収は60%であった。また、貯金、貸付金の増加に

図表2 合併等の経緯



図表3 合併参加農協の概要

合併年月日	組 合 名	組合長名	組合員数	役員数	職員数
34. 6. 10	福島市福島	長島 徳重	238	12	7
	福島市渡利	拾井 豊海	417	14	7
	立子山	阿部 市以	304	12	8
	福島市向鎌田	梅宮 幸吉	114	9	4
38. 2. 1	福島市	長島 徳重	1,337	25	37
	岡山	阿部 義重	668	12	19

より生産増強に貢献したが、自己資本の蓄積が当面の重要問題となっていた。

第二次合併の38年には、合併経営計画と基本方針に従い市街化農協の特殊性を生かした信用事業の強化、農産物共販体制の確立、共済事業長期拡大の強化、事務合理化、出資の造成などを進めてきた。

34年には、農協全体収益の30%以上を購買収益が占めており、購買事業中心の経営状況であったが、38年には、購買収益30%、信用収益30%となり購買事業と信用事業が中心となった。

(2) 昭和40年代

40年代前半は、米の生産調整という大問題が発生し組合員に大きな影響を及ぼした。

合併の基本方針の最大の課題であった赤字解消については、45年に組合員の理解と利用度合の高まりにより解消出来た。

40年代後半は、金融緩和と低金利政策は一変して、金融引締めと再三に亘る公定歩合の引上げとなって、原油・物資が不足し物価が高騰し、農協経営の弱点をつき経営を悪化させたが農家経営の安定に寄与すべく懸命の努力の結果、組合員へ配分をすることが出来た。

全体収益のうち信用収益が50%となり、貯金貸付が大きく伸びた。

(3) 昭和50年代

制度資金を利用した大型ハウスが岡山、向鎌田地区に導入され、施設園芸団地が形成された。

貸付金の固定化の解消には話し合いと法的手段により回収に努めた。

一方、固定資産の取得や貸付金の代物弁済等によ

り、固定比率が低くなり資金の効率運用が重要な課題となった。

収益は信用収益40%、共済収益30%となり、長期共済の一斉推進等による共済事業が伸びた。

(4) 昭和60年代

金融自由化、公定歩合の引下げなどから信用事業は厳しくなり、また、農協経営を悪化させている遊休資産の処分も進まず、固定化債権の回収も思うように回収出来ない状況であった。信用収益はマイナス収益となった。

一方、共済収益が60%を占め、共済事業が中心で、剰余金もマイナスで報告する状況となった。

(5) 平成年代

信用収益は、金融の自由化、公定歩合の引き

下げ、固定化債権の償却等により60年代と同様にマイナス収益となった。共済収益が60%を占め共済事業中心の経営が続き、剰余金もマイナスで報告する状況が続いた。

経営悪化の要因である固定化債権の回収は、3年より専門部署を設置して役職員一体となり努力をした。また、役員による再建整備委員会の設置、経営体制の整備強化、合理化対策による管理費の節約等努力したが、残念なことに多額の欠損金を計上しなければならなかった。

このような状況ではあるが、福島市内8 J Aのお互いの理解と協力により合併し、6年2月に新ふくしま農業協同組合が発足して、新たな組織となって組合員の期待に応えるべく第一歩を踏み出すこととなった。

図表 4 主な勘定と事業の推移

(単位：千円、共済：百万円)

年度		24	30	38 (合併年度)	40	50	60	5
項目								
正組合員戸数 (戸)		1,883	1,611	1,806	1,705	1,608	1,531	1,511
准組合員戸数 (戸)		83	105	224	510	824	680	739
資 産	余 裕 金	6,795	9,860	44,497	152,829	1,516,517	2,760,127	7,040,448
	貸 出 金	2,843	16,062	142,485	169,325	1,276,778	3,388,746	1,918,324
	その他流動資産		18,298	67,295	106,417	349,893	699,073	766,425
	固 定 資 産	3,221	5,853	37,083	46,849	181,376	952,492	773,716
	外 部 出 資	314	3,320	6,494	7,140	26,337	70,940	109,918
負 債 及 び 資 本	貯 金	13,192	33,200	211,469	352,437	2,981,347	7,049,234	10,039,645
	借 入 金	1,909	10,588	25,280	38,266	22,198	15,186	3,910
	そ の 他 負 債			39,237	60,935	264,407	617,442	1,468,952
	出 資 金	1,405	7,864	21,696	29,608	63,554	134,101	151,535
	積 立 金	20	669			15,654	51,855	
主 な 事 業 実 績	剰 余 金	-5	-944	172	1,314	3,741	3,560	-1,055,211
	販 売 取 扱 高	35,654	72,986	72,452	90,800	270,748	429,838	391,570
	うち 米 穀		22,305	33,355	50,171	112,356	94,727	53,505
	青 果 物		26,738	25,796	31,416	58,829	82,402	125,505
	特 産 物				1,725	94,197	193,210	157,294
主 な 事 業 実 績	購 買 取 扱 高	24,279	53,286	147,594	195,926	609,394	791,566	1,007,796
	うち 生産資材		35,665	102,383	93,423	275,457	462,902	561,005
	生活資材		17,621	45,211	102,503	333,937	328,664	446,791
	長期共済保有高			3,260	6,190	11,443	70,241	107,287

(注) 合併年度は最新合併年度 合併以前の年度は合併参加農協の合計

Ⅲ 年 表

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
23年		39年	
6. 5	福島市向鎌田農業協同組合発足	3.24	第1回通常総会
6.28	立子山村農業協同組合発足	4. 1	福島市公金収納取扱を開始
7. 8	岡山農業協同組合発足	5.27	凍霜害国会陳情に参加
7.12	福島市渡利農業協同組合発足	7.13	岡山支所事務所改築工事完成
7.19	小国村農業協同組合発足	9.17	有線放送公社線接続工事契約
8.17	福島市福島農業協同組合発足	9.18	立子山支所農産物受検組合設立
26年		40年	
.	再建整備の指定を受ける（岡山）	2.18	大波地区有線放送開通
30年		3. 6	渡利支所ストア新築開店
3.31	小国村大波地区が福島市に合併	8. 7	本所より中央支所が分離開所
6.21	立子山農業協同組合に名称変更	41年	
7.10	立子山村が福島市に合併	1. 4	中央、渡利、立子山地区有線放送開通
34年		4.18	岡山地区有線放送開通
6.10	福島市福島、福島市渡利、立子山、福島市向鎌田各農協および小国村大波地区が合併して福島市農業協同組合が発足	9. 8	岡山支所ストア改築開店
	大波支所増築完成（福島）	9.25	ハウス栽培きゅうり共選開始
7.31	合併設立祝賀大会（福島）	42年	
11.17	渡利集荷所完成（福島）	3. 3	ピククルきゅうり栽培説明会
12.21	本所事務所落成式（福島）	5. 9	水不足対策巡回現地指導会
35年		11. 4	渡利支所倉庫兼会議室落成式
1.28	立子山支所そ菜部を設立（福島）	11.24	岡山支所農機具サービスセンター完成し開所
2.	大波酪農組合が大波支所酪農部となる（福島）	43年	
2. 7	大波果樹組合が大波支所果樹部となる（福島）	2.21	ビニールハウス濃密指導会
3.21	大波支所養鶏部設立（福島）	8. 3	大波地区夏秋きゅうり共選開始
4.21	立子山理容所新築完成（福島）	10. 8	向鎌田事務所・集出荷所完成
5. 4	第1回通常総会（福島）	10.14	渡利地区花卉鉄骨ハウス建設指導会
6.30	共済優績 全共連特別表彰（福島）	44年	
7. 6	酒類、塩販売届出許可される（福島）	3.13	大波地区指定品目野菜栽培研究会開催
7.29	大波支所店舗改造完成（福島）	5.28	貯蓄成績優良 農林中金支店長表彰
36年		45年	
6.27	共済優績 全共連特別表彰（岡山）	5.11	ハウス病診断実施
37年		5.29	貯蓄成績優良 農林中金支店長表彰
9.30	合併経営計画書（案）作成	46年	
38年		2.14	凍豆腐製造講習会
2. 1	福島市農協と岡山農協が合併して新「福島市農業協同組合」発足	4.14	花木産地育成講習会
3.22	合併祝賀大会	5.25	貯蓄成績優良 農林中金支店長表彰
8. 5	渡利加工所新築完成	9.20	農業短大生野菜農家実習実施
12.16	本所事務所落成式	12.16	共同育苗ハウス新築落成
		47年	
		2. 7	施設園芸税務対策会議
		7.20	吾妻開発パイロット試作畑現地調査
		10. 9	立子山地区婦人部設立総会

年 月 日	主 な 事 績	年 月 日	主 な 事 績
48年		59年	
2.27	水稻共同育苗組合発足	5.23	共済優績 全共連表彰
5. 4	福島市農協婦人部設立総会	8.29	年金友の会設立総会
10. 5	岡山畜産部設立総会	10.22	渡利支所 A T M 機稼働
10.12	福島市農協受検組合設立総会	12. 3	大波支所事務所新築開所
49年		60年	
5. 9	福島市農協畜産部設立総会	8.23	中央、立子山、岡山支所 A T M 機稼働
10.25	農業改良推進員県大会に参加	10.31	稲ワラ供給業務開始する。
50年		61年	
2.28	岡山方部有線放送事業閉鎖	5.22	共済優績 全共連表彰
7.21	渡利小倉寺婦人部設立総会	11.13	年金友の会企画旅行開始
10.31	中央方部有線放送事業閉鎖	62年	
51年		5.21	共済優績 全共連表彰
2.13	共済高額契約者研修会実施	5.25	自動コイン精米機稼働
8.17	冷害対策現地指導会	9. 7	自賠責共済取次店業務開始
10. 2	農業後継者全体会議	63年	
52年		1.22	野菜 D B 材質規格検討会
6. 5	役職員合同研修会（流研）	5.19	共済優績 全共連表彰
6.26	県北女子職員バレーボール大会で準優勝	7.18	低農薬有機栽培調査実施
10. 2	東海大教授による職員研修会開催する	元年	
53年		5.18	共済優績 全共連表彰
3. 1	合併15周年記念式典	11.14	農協企画台湾旅行実施
9. 9	農協婦人部バレーボール県大会に出場	12. 2	農協企画ハワイ旅行実施
11. 9	合併15周年記念農業祭	2 年	
54年		1.26	講演会「農業を語る会」開催
3. 5	農業税務相談業務開始	5.17	共済優績 全共連表彰
7. 2	窓口会計機各支所稼働	11.14	ゲートボール全国大会出場
11.21	農協企画旅行業務開始	3 年	
55年		5.23	共済優績 全共連表彰
5. 7	自給野菜苗斡旋業務開始	7.29	岡山婦人クラブ発足
8.17	冷害による水稻種子緊急追加注文取りまとめ	8. 5	東京ディズニーランド旅行実施
8.22	肉用牛導入（貸付牛）開始	4 年	
12.26	雪害対策会議	2.15	立子山支所購買店舗改装
56年		2.17	福島市 J A 合併研究会設立
3.12	渡利支所事務所落成式	4.29	総合農業資材店舗みどりセンターオープン
12. 1	葬祭事業開始	11. 2	集中配送業務稼働
12.11	水田再編地区推進協議会設置	11.14	合併30周年記念 J A まつり
57年		11.20	J A 食材宅配業務開始
1.18	健康増進活動事業開始	5 年	
5.17	オンライン稼働	3.29	婦人クラブ結成20周年大会
12.15	婦人部結成10周年記念大会	4.12	福島市 J A 合併促進協議会発足
58年		5.20	共済優績 J A 全共連表彰
1.16	立子山支所事務所新築開所	10. 1	J A 新ふくしま合併予備契約調印式
5.12	立子山支所事務所新築落成式	10.23	合併臨時総会
		6 年	
		1.31	J A 福島市解散

IV 資 料

(平成5年度末現在)

1 組 合 員

()は戸数

正 組 合 員		准 組 合 員		合 計	
個 人	法人	個 人	団体	個 人	法・団
1,616 (1,511)		855 (739)	6	2,477 (2,250)	6

2 役員及び参事

代表理事組合長	理事 伊 藤 喜 八
加 藤 源 吉	理事 梅 宮 孝 二
第一理事	理事 早 川 文 雄
羽 田 定 四 郎	理事 佐 藤 栄 一
第二理事	理事 佐 藤 巳 吉
清 野 浩 一	理事 加 藤 岩 三
理事 清 野 訓 男	理事 (欠 員)
理事 加 藤 俊 雄	代表監事
理事 加 藤 武 雄	片 平 満 夫
理事 小 川 弘 之	監事 浅 野 與 惣 治
理事 高 野 安 吉	監事 斎 藤 衛
理事 高 橋 良 和	監事 藤 原 貞 勇
理事 湯野川 輝 男	監事 八 卷 俊 夫
理事 阿 部 浩 夫	
理事 大 槻 雅 茂	
理事 斎 藤 甚 吉	参事 関 根 俊 夫

3 職 員

男	女	計	うち営農 指導員	うち生活 指導員
56	19	75	5	1

4 協力組織

名 称	代 表 者	会員数
農事組合		80組合
婦人クラブ	野 津 登 代	331
フレッシュミセス	斎 藤 美 智 子	20
岡山農業樹立クラブ	高 野 勝 美	8
農業生活改良 推進委員会	加 藤 修 一	56
年金友の会	国 島 哲 夫	1,200

5 生産部会

名 称	代 表 者	会員数
水稻部会	高 橋 徳 次	820
花卉部会	高 野 春 夫	22
果樹部会	清 野 隆 夫	28
畜産部会	宝 槻 昭 夫	44
水稻共同育苗 生産組合	斎 藤 安 市	48
夏秋きゅうり生産 専門部会	栗 原 勘 一	57
向鎌田施設きゅうり 部会	吉 田 久	39

6 主な施設

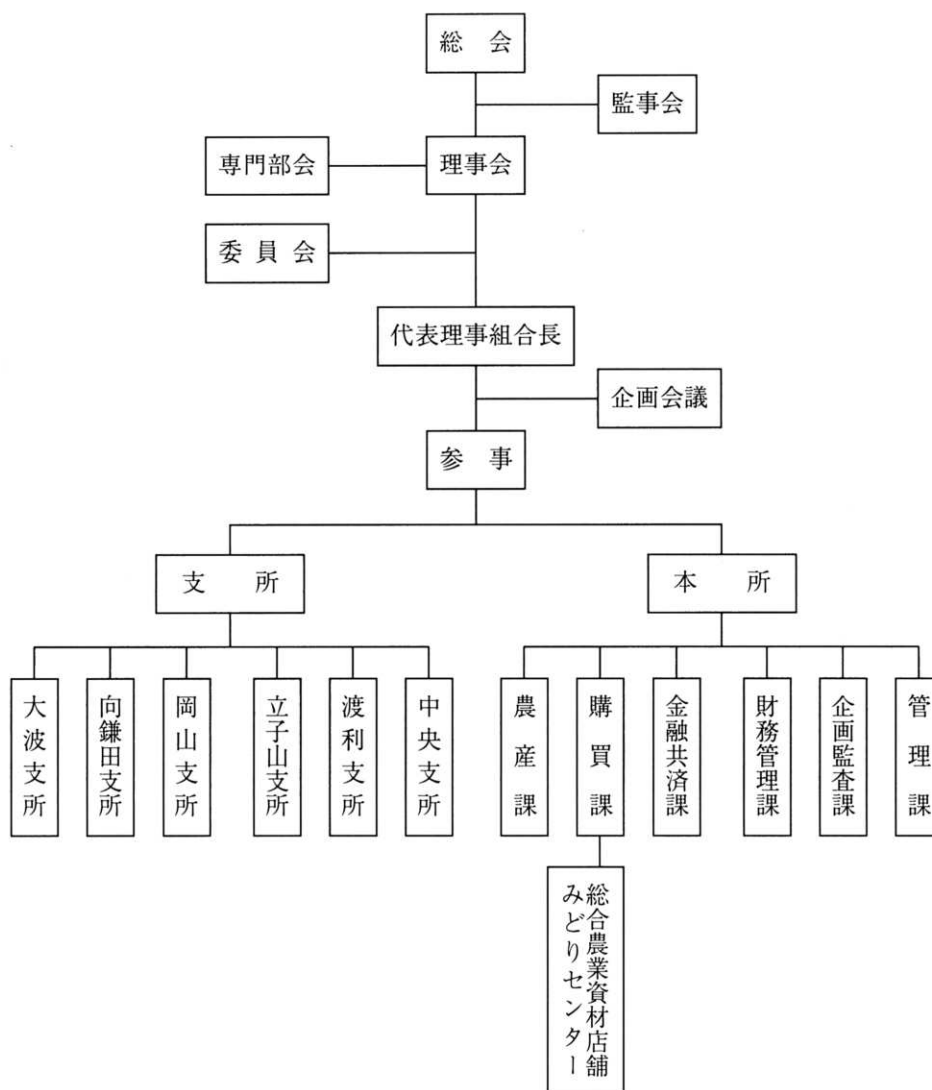
名 称	所 在 地
本 所	浜田町11-8
中央支所	〃
渡利 〃	渡利字舟場23
立子山 〃	立子山字仲森27-1
岡山 〃	岡部字岡部4
向鎌田 〃	向鎌田字阿良久21-4
大波 〃	大波字澹内10-3
みどりセンター	岡部字岡部4
農業倉庫	〃 〃
〃	渡利字舟場23
〃	立子山字仲森27-1
〃	岡部字岡部4
〃	向鎌田字阿良久21-4
〃	大波字澹内10-3
共選場	岡部字岡部4

7 歴代組合長・参事

組 合 長			
38～47	長 島 徳 重	5～6	加 藤 源 吉
47～5	早 川 孝 一		

参 事			
38～54	長 島 義 雄	2～6	関 根 俊 夫
54～2	清 野 吉 己		

8 経営管理機構



9 合併前の歴代組合長

福島市福島農協

23～29	渡辺良太郎	29～34	長島 徳重
-------	-------	-------	-------

福島市向鎌田農協

23～34	梅宮 幸吉
-------	-------

福島市渡利農協

23～29	高野吉右衛門	32～34	拾井 豊海
29～32	三浦 栄七		

福島市農協

34～38	長島 徳重
-------	-------

立子山農協

23～27	大河内利市	31～34	阿部 市以
27～31	黒沢 市助		

岡山農協

23～26	大槻太十郎	29～32	村上 幸吉
26～27	菅野 記栄	32～38	阿部 義栄
27～29	阿部六之助		